指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	第１学年	Power On Power On スタディノート

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰは、「話すこと」「書くこと」「聞くこと」「読むこと」というコミュニケーションの土台になる４技能の基礎作りのための授業です。世界のさまざまなトピックを通じて、楽しく英語を学ぶことができます。学んだ構文や表現を使って話したり書いたりする言語活動を多く行い、「英語を使う」感覚を身につけていきましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）及び「英語表現Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・事実と意見などを区別して話すことができる。 ・・・・・・・・・・・・・ など	コミュ英Ⅰ スピーキングテスト スピーチパフォーマンステスト 語表現Ⅰ ライティング	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。 ・・・・・・・・・・・・・ など	コミュ英Ⅰ ライティングテスト 定期考査 英語表現Ⅰ ライティングテスト 定期考査	・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・・・・・・・・・・・・・ など	コミュ英Ⅰ リスニングテスト 定期考査	・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・・・・・・ など	コミュ英Ⅰ リーディングテスト 音読テスト 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	説明文や物語を読んで、内容をある程度とらえることができているか、背景にある文化なども理解しているかを評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 Mt. Fuji - a symbol of Japan （５時間）	日本の世界遺産の１つ「富士山」が持つ存在感と日本人にとっての意義について学ぶ。登山客数の増加と、その存在感が海外の観光客に影響力について学ぶ。加えて，現在形，過去形，未来を表す表現，現在進行形・過去進行形を意識しながら読み、自制を変えて状況に応じた表現をできるようにする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・日本人にとって富士山がもつ意義を考え、その存在感が持つ海外の人々への影響について学ぶ。	・パートごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシート提出時に内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・現在形，過去形，未来を表す表現，現在進行形・過去進行形を用いて，正しい文を書くことができる。	・各パートの内容を口頭で要約する。	・現在形，過去形，未来を表す表現，現在進行形・過去進行形を用いて，正しい文を書くことができる。	・スタディノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・日本と海外の人々が見た富士山に対するイメージの違いや、日本人がもつイメージについて理解を深める。	・スタディノートを利用して、パートごとに概要を把握する。	・日本人が持つ富士山のイメージや意義を捉え、その存在感が外国人にどのような影響力を持っているかを理解している。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在形，過去形，未来を表す表現，現在進行形・過去進行形の用法を理解している。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在形，過去形，未来を表す表現，現在進行形・過去進行形の用法を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 Sleep in Animals (５時間)	草食動物と肉食動物、また哺乳類における「眠り」の違いについて学ぶ。睡眠が多くの動物にもたらす意味や、その時間的な長さ/短さが持つ意味について理解を深める。 加えて，動名詞、不定詞、比較級を意識しながら読み、動名詞と不定詞の書き換えが可能になる場合の説明や、比較級を用いて２つの事象を比較する能力を養う。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをスタディノートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・スタディノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・動名詞・不定詞を用いて，正しい文を書くことができる。 ・またその内容を「～することは～することよりも〇〇」といった２つの事象を比較する英文を作れるようになる。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・内容の要点をまとめてスタディノートに書く。	・動名詞・不定詞が書き換え可能な場合、どのように英文で表現できるかが理解できている。 ・２つの物質に関する比較級の英文だけでなく、動名詞。不定詞を用いた比較の英文を書くことができる。	・スタディノートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・肉食動物と草食動物の睡眠時間が異なる理由について理解できる。 ・哺乳類や海洋生物の眠り方の特徴について理解できる。	・Q&A などにより本文を読み進めながら内容を理解する。	・肉食動物と草食動物の睡眠時間が異なる理由について理解できる。 ・哺乳類や海洋生物の眠り方の特徴について理解できる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・不定詞、動名詞の用法を理解する	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・不定詞、動名詞の用法を理解する	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 Nagatomo Yuto - a Long Hard Road to Success （６時間）	サッカー選手長友佑都の人生を辿る。彼の生い立ちをなぞり、どのようにして世界で活躍する存在になったのか、彼を支えた家族や周囲の人間からの言葉などを学ぶ。 加えて，現在完了、受動態や文型(第２文型)を意識しながら読み,「自分の好きなもの」などを英語で紹介することができるようにする。また，基本的なパラグラフの構成についても学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・現在完了、受動態、SVO の英文の規則を理解し、正しい英文を書くことが出来る。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。	・現在完了、受動態、SVO の英文の規則を理解し、正しい英文を書くことが出来る。	・スタディノートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・長友選手の生い立ちについて英語を聞いて理解することができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。	・長友選手の生い立ちについて英語を聞いて理解することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了、受動態、SVO の英文の規則をそれぞれ理解している。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在完了、受動態、SVO の英文の規則をそれぞれ理解している。 。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 Kawaii and Japanese Pop Culture (6時間)	“Kawaii”という語が今や世界で認識されるほど、日本の”Kawaii文化”が世界に対してどのような影響力があるかを理解する。必ずしも”cute”=”Kawaii”ではないという事実と、日の”Kawaii”を象徴する Hello Kitty がどのように世界で認識されているかを学ぶ。 加えて,It is 形容詞 to 不定詞、can/may を主とした助動詞の役割、また関係代名詞(主格)の概念についても学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・日本人が持つ「可愛い」という概念の在り方について話し合い、それが海外でどのように”Kawaii”に変換されているかを話しあう。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・自らが持っている概念を他者に伝え、そこから派生した”Kawaii”の概念とはどのようなものかを話し合っているか。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・It is 形容詞 to 不定詞、助動詞、関係代名詞(主格)	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。	・現在完了，関係代名詞(who, which, that),分詞の形容詞用法(現在分詞,過去分詞)を用いて，正しい文を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・現在完了，関係代名詞(who, which, that),分詞の形容詞用法(現在分詞，過去分詞)の用法を理解している。	・携帯電話のメリット/デメリット，もしくは自分と携帯電話の適切な関係について理解している。	・現在完了，関係代名詞(who, which, that)，分詞の形容詞用法(現在分詞,過去分詞)の用法を理解している。	・定期考査の筆記テス　トにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了，関係代名詞(who, which, that),分詞の形容詞用法(現在分詞，過去分詞)の用法を理解している。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在完了，関係代名詞(who, which, that),分詞の形容詞用法(現在分詞,過去分詞)の用法を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 Banana Paper （6時間）	私たちの身近にあるバナナの語源から、捨てられるはずのバナナのヘタが日本の企業の努力によって紙に生まれ変わり、またそのプロジェクトを通してザンビアの人々の生活基準を整える努力につながっていることを学ぶ。加えて、分詞の形容詞的用法、SVC、SVOCを学び、補語の概念とその役割を重点的に学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・日本人に親しみのあるバナナが主にどこから輸入され、日本の企業によってどのようなものに生まれ変わり、それがどのような人々への助けになっているかを説明する	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・バナナについての知識をブレインストーミングで表し、その特徴などについて話し合うことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・英語特有の後置修飾の概念を学び、動詞の過去形とは役割が異なることを学んだ上で、英文の中から後置修飾を見つけられるようにする。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、本文の内容について伝え合う。	・読んだことに基づき、内容について話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・バナナがどのように収穫され、日本企業の努力でどのように生まれ変わるのかを説明できる ・発展途上国の人々にとってその試みがもたらす意味について理解できる	・バナナ以外の食物や物質が別の製品に変わることについての記事を読む。	・バナナがどのように収穫され、日本企業の努力でどのように生まれ変わるのかを説明できる ・発展途上国の人々にとってその試みがもたらす意味について理解できる	・定期考査の筆記テストにて、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・後置修飾が英文のどこに隠れているかを判断できる。 ・補語の概念と、補語になり得る語を学び、SVC、SVOCの英文を作ることができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・後置修飾と補語の概念が理解できる。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 A Story about Instant Noodles (7時間)	今や世界で知られているインスタントヌードルがどのように発明されたのか、安藤百福の生涯を辿り、どのような経緯でインスタントーヌードルが生まれたのかを辿る。 加えて，SVOC、助動詞を用いた受動態、使役動詞について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・インスタントヌードルについて知っていることを発言しようとする。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・インスタントヌードルについて知っていることを発言しようとする。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ SVOC、助動詞を用いた受動態、使役動詞を用いて，正しい文を書くことができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。	・ SVOC、助動詞を用いた受動態、使役動詞を用いて，正しい文を書くことができる。	・スタディノートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・安藤百福がインスタントヌードルを発明しようと思ったきっかけを理解できる。 ・どのような苦労があり、何をきっかけに現在のような製品が出来上がったかを理解できる。	・関連する英語を聞いたり、よんだりして，理解することができる。	・安藤百福がインスタントヌードルを発明しようと思ったきっかけを理解できる。 ・どのような苦労があり、何をきっかけに現在のような製品が出来上がったかを理解できる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・インスタントヌードルに込められた発明者の安藤百福の思いについて理解している。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・インスタントヌードルに込められた発明者の安藤百福の思いについて理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 The Earth, Our Home! (7時間)	宇宙飛行士、古川聡が国際宇宙ステーションから地球を見たときの特別な感情を学ぶ。国際宇宙ステーションでの水や空気を維持する方法や、クルーたちが地球に対して抱き始めた気持ちの変化などを追う。加えて，S seem(s) to 不定詞、関係副詞 where 、It is(was) 形容詞(名詞) that 節…の用法を学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ 宇宙や、惑星、宇宙飛行士などについて知っていることを発言しようとする。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・ 宇宙や、惑星、宇宙飛行士などについて知っていることを発言し、会話を続ける努力をしている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・It is (was) 形容詞(名詞) that 節を用いて正しい文を書くことができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。・各セクションの内容を口頭で要約する。	・It is (was) 形容詞(名詞) that 節を用いて正しい文を書くことができる。	・スタディノートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・古川聡が感じた宇宙に対するイメージを理解することができる。 ・ 国際宇宙ステーションでの生活様式と、宇宙飛行士たちの心に芽生えた地球の捉え方を理解できる。	・関連する英語を聞いて，理解することができる。	・古川聡が感じた宇宙に対するイメージを理解することができる。 ・ 国際宇宙ステーションでの生活様式と、宇宙飛行士たちの心に芽生えた地球の捉え方を理解できる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・S appear(seem) to 不定詞の用法を理解している。 ・関係副詞 where を用いて場所の説明などができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・S appear(seem) to 不定詞の用法を理解している。 ・関係副詞 where を用いて場所の説明などができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 Mr. Fija and *Ucihnaaguchi* (８時間)	沖縄の方言である沖縄語(ウチナーグチ)とは何かを学び、ユネスコに絶滅危機言語として登録されたその言語を維持するために活動する比嘉光龍の半生とその活動について学ぶ。 加えて、現在完了進行形、関係副詞 when、仮定法過去について学び、正しく理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・沖縄について知っていること、また世界にある言語や日本国内にある独特の方言について知っていることを発言しようとする。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・沖縄について知っていること、また世界にある言語や日本国内にある独特の方言について知っていることを発言しようとする。	・グループでの言語活動を観察する。 ・スタディノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・関係副詞 when、現在完了を用いて、正しい文を書くことができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。	・関係副詞 when、現在完了を用いて、正しい文を書くことができる。	・スタディノートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ 沖縄が歴史的に辿った道のりについて知り、その中で言語がどのように扱われてきたかを理解できる。 ・比嘉光龍がどういった経緯で沖縄語を次の世代につなげたいと思ったかをインタビューを読み、ペアでインタビューをして、自分の人生に影響を与えたものを伝えることが出来る。	・関連する英語を聞いて，理解することができる	・ 沖縄が歴史的に辿った道のりについて知り、その中で言語がどのように扱われてきたかを理解できる。 ・比嘉光龍がどういった経緯で沖縄語を次の世代につなげたいと思ったかをインタビューを読み、ペアでインタビューをして、自分の人生に影響を与えたものを伝えることが出来る。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・沖縄だけでなく、他にも日本国内で絶滅に瀕しているものを知り、どのように守っていくかについて話し合い、理解を深める。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・沖縄だけでなく、他にも日本国内で絶滅に瀕しているものを知り、どのように守っていくかについて話し合い、理解を深めることが出来る。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 The Power to unite People (８時間)	ネルソン・マンデラがアパルトヘイトが行われていた時代に、黒人差別をなくそうとラグビーを通して人々に訴えた事実を追う。また、人々が差別や偏見を超えて共に歩む時代に何が必要かを考える。 加えて，過去完了、未来進行形、分詞構文(現在分詞)について学び、正しい文法ルールを理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・アパルトヘイトやネルソン･マンデラ、差別や偏見について知っていることをグループワークを通して発言する。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・アパルトヘイトやネルソン･マンデラ、差別や偏見について知っていることをグループワークを通して発言する。	・グループでの言語活動を観察する。 ・スタディノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・過去完了形、未来進行形、分詞構文(現在分詞)を用いて正しい文を書くことができる。	・本文中の表現を他の表現で言い換えたり，紙面中の写真・イラスト等を英語で説明したりすることができる。	・過去完了形、未来進行形、分詞構文(現在分詞)を用いて正しい文を書くことができる。	・スタディノートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・過去完了の仕組みを理解し、過去時制よりも前の事柄を自分の体験に基づき書くことができる。 ・未来進行形を用いて、特定された未来時制の中で自分が行う動作について作文することができる。	・ 関連する英語を聞いて，理解することができる。	・過去完了の仕組みを理解し、過去時制よりも前の事柄を自分の体験に基づき書くことができる。 ・未来進行形を用いて、特定された未来時制の中で自分が行う動作について作文することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・人種差別があった時代の背景や、そのために尽力したネルソン･マンデラの行い、スプリンボクスのチームで起きた変化を理解している	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・人種差別があった時代の背景や、そのために尽力したネルソン･マンデラの行い、スプリンボクスのチームで起きた変化を理解している	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 10 Carving for the Future (８時間)	世界的な建築物”サグラダ・ファミリア”がアントニオ・ガウディによって設計されたものであるという知識から、彼の死後建築に携わる日本人がガウディの意志を引き継ぐ想いで建築に関わっていることについて学ぶ。 加えて，関係代名詞の非制限用法、SVOC、関係代名詞 what についても学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・スペインやヨーロッパの建築や美術に関する知識について知っていることを発表する。	・本文を読んだ後に，ペアワークを通じて自分の意見を言ったり，相手の発表をしっかり聞こうとしたりする。	・スペインやヨーロッパの建築や美術に関する知識について知っていることを発表しようとしている。	・グループでの言語活動を観察する。 ・スタディノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・関係代名詞の復習から非制限用法、SVOC、関係代名詞 what を用いて正しい文を書くことができる。	・各パートの内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。	・関係代名詞の復習から非制限用法、SVOC、関係代名詞 what を用いて正しい文を書くことができる。	・スタディノートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ガウディが志半ばで亡くなってしまったこと、また日本人である外尾悦郎が何を感じスペインへ渡ったかを理解している。	・関連する英語を聞いて，理解することができる。	・ガウディが志半ばで亡くなってしまったこと、また日本人である外尾悦郎が何を感じスペインへ渡ったかを理解している。	・定期考査の筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞の復習から非制限用法、SVOC、関係代名詞 what を用いて正しい文を書くことができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞の復習から非制限用法、SVOC、関係代名詞 what を用いて正しい文を書くことができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。